

2025 11.16 (日)
15:00 開演 (14:15 開場)

第九

ベートーヴェン.. 交響曲第9番 三短調 作品125 《合唱付き》
〈1824年作曲〉
Sinfonie Nr. 9 "Choral"
第170回定期演奏会
神戸市室内管弦楽団

〔合唱〕 神戸市混声合唱団

50th Anniversary
神戸文化ホール

通し券で2公演を
お得にお楽しみください

作曲家の脳内では
同時に鳴り響いていた、はずだ...

神戸文化ホール
開館50周年記念事業

ベートーヴェン ダブルビル

日本語字幕付き

会場=神戸文化ホール 大ホール



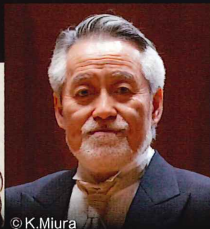
© Ayane Shindo

【ソプラノ】
中江早希



© 平鑑平

【アルト】
布施奈緒子



© K. Miura

【指揮】
鈴木秀美



© Ribafaluce

【テノール】
櫻田 亮



© 井村重人

【バス】
永見健一郎

2025 11.15 (土)
15:00 開演 (14:15 開場)

ミサ・ソレムニス

ベートーヴェン.. 荘厳ミサ曲 三長調 作品123
Miss a solennis
合同定期演奏会
神戸市室内管弦楽団
神戸市混声合唱団

〈1823年作曲〉

ダブルビル通し券 S席通し券 8,000円 A席通し券 3,600円

※通し券は、神戸文化ホール友の会会員割引対象外。

期間限定販売 6/27(金)~9/30(火)

販売場所 ●神戸文化ホールプレイガイド 078-351-3349 (10:00~17:00 月曜休業 ※祝日の場合翌平日) ●神戸文化ホールオンラインチケット <https://www.kobe-bunka.jp/hall/>

1公演券 S席各 5,000円 A席各 2,000円 U25 (25歳以下) 1,000円 (税込)

◆神戸文化ホール友の会会員1割引 (1公演券のみ対象) ◆神戸市混声合唱団定期会員2割引 (「第九」S席のみ対象)

販売場所 ●神戸文化ホールプレイガイド ●神戸文化ホールオンラインチケット ●ローソンチケット (11/15 Lコード: 55017・11/16 Lコード: 55023) <https://l-tike.com/>
●チケットぴあ (11/15 Pコード: 302-140・11/16 Pコード: 302-145) <https://t.pia.jp/> ●神戸国際会館プレイガイド 078-230-3300

※U25チケットのお客様は、入場時に年齢が確認できる証明書の提示が必要です。※やむを得ず出演者を変更する場合があります。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。

(主催・お問合せ) (公財) 神戸市民文化振興財団 078-361-7241 (日・月・祝日休業) <https://www.kobe-ensou.jp>

(助成) (公財) 朝日新聞文化財団 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



BE KOBE
震災30年を
未来につなぐ

ベートーヴェン・ダブルビル

皆様、この度、神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団は大きな挑戦をします。ベートーヴェンが遺した最大規模の2曲を連続でお届けしようというのです。『盛儀』ミサは1823年、第九は24年に作曲され、ミサの一部分は第九の初演時にも演奏されました。歌と交響曲が歴史上初めて合体した第九、しかしその存在の裏にはこのミサが欠かせません。ミサをまだ覚えている耳で第九を聴くことによって、同時に鳴っていたであろうベートーヴェンの脳裡を追体験していただきたいのです。きっと第九の聴き方や理解の仕方も変わってくることでしょ。

もちろんどちらか一方でも構いませんが、叶うことなら是非、2つを続けてお聴き下さい。

こんな機会は一生に何度も訪れません。どうぞお聴き逃しなきように！

鈴木秀美

【指揮】鈴木秀美 Hidemi Suzuki, Conductor

神戸生まれ。チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、後進の指導と活動は多岐にわたリサントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。主要な古楽団でメンバーや首席奏者を務めた。2001年《オーケストラ・リベラ・クラシカ》を創立し、自身のレーベル《アルテ・デラルコ》からその録音や室内楽等をリリース中。国内外のオーケストラに指揮者及びソリストとして客演。著書に「『古楽器』よ、さらば!」（音楽之友社）、「ガット・カフェ」[無伴奏チェロ組曲]（東京書籍）、「通奏低音弾きの言葉では、」（アルテス・パブリッシング）などがある。現在は神戸市室内管弦楽団音楽監督、山形交響楽団首席客演指揮者、東京音楽大学チェロ科客員教授を務めている。楽遊会弦楽四重奏団メンバー、日本ベートーヴェンクライス副代表理事。また、神戸市室内管弦楽団（設立当時は神戸室内合奏団）の創立メンバー（副指揮者・首席奏者）でもある。



【ソプラノ】中江早希 Saki Nakae, Soprano

北海道出身。北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業。東京藝術大学修士課程音楽研究科声楽専攻独唱科、同大学院博士後期課程を修了。在学時、大学院アカンサス賞、三菱地所賞受賞。第14回日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第2位。第12回中田喜直記念コンクールにて大賞を受賞。第25回ハイメス音楽コンクールにて声楽部門第1位。第3回ジュリアード音楽院コンクール第1位。第11回東京音楽コンクール声楽部門第3位。第27回道銀芸術文化奨励賞受賞。鈴木秀美指揮、OLC第37回定期演奏会ライブ録音CDが、「レコード芸術」誌にて特選盤に選出されている。洗足学園音楽大学非常勤講師。



【アルト】布施奈緒子 Naoko Fuse, Alto

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞および同声会賞受賞。同大学院修士課程修了。オペラでは、モンテヴェルディ《ポッペアの戴冠》（アモレ、乳母）、マスネ《ウェルテル》（シャルロット）、ビゼー《カルメン》（メルセデス）等を演じる他、パッハ《マタイ受難曲》（ミサ曲口短調）、ヘンデル《メサイア》、ベートーヴェン《ミサ・ソレムニス》、メンデルスゾーン《エリア》《パウルス》、ヴェルディ《レクイエム》他にソリストとして数多く出演。また、声楽家としての演奏活動を行うと同時に、館林第九合唱団、東京ムジーククライスを始めとした多くの合唱団で指導やボイストレーニングに携わっている。パッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。



【テノール】櫻田 亮 Makoto Sakurada, Tenor

東京藝術大学卒業。同大学院修了後、イタリア国立ボローニャ音楽院に留学。イタリア各地でモンテヴェルディ作品出演の他、『オルフェオ』初演400年では世界的なヴァイオラ・ダ・ガンバ奏者J.サヴァールらのグループとエジンバラ音楽祭等で共演。国内でもサヴァリッシュ指揮N響をはじめ数多くのオーケストラと共演。バロックから古典派をレパートリーに国際的に高い評価を得ており、BCJとはCD録音やコンサートの他、欧米ツアー等共演多数。2019年CD《あなたはすべて私のものだったー17世紀イタリアの恋歌ー》をリリース。NHK「クラシック倶楽部」にてリサイタルが放送されている。2002年ブルージュ国際古楽コンクール第2位（声楽最高位）。東京藝術大学教授。二期会会員。



【バス】氷見健一郎 Kenichiro Himi, Bass

富山県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。新国立劇場オペラ研修所修了。研修中にANASカラシップ奨学生として、イタリア、ミラノスカラ座アカデミー、ドイツ、バイエルン州立歌劇場付属オペラ研修所（ミュンヘン）にて海外研修を受ける。バスソリストとして、パッハの《マニフィカート二長調》、《マタイ受難曲》、モーツァルトの《戴冠ミサ》、《ハ短調ミサ》、《レクイエム》、ハイドンの《天地創造》、《パウケンミサ》、ベートーヴェンの《ミサ・ソレムニス》、《交響曲第9番》、フォーレの《レクイエム》に出演。オペラ出演多数。第12回北陸新人登竜門コンサート出演。第17回松方ホール音楽賞奨励賞受賞。



神戸市室内管弦楽団

Kobe City Chamber Orchestra

1981年、神戸市により「神戸室内合奏団」として設立。実力派の弦楽器奏者たちによって組織され、弦楽合奏を主体としながらも、管楽器群を加えた室内管弦楽団としての活動も活発に行う。これまでにゲルハルト・ボッセや岡山潔など音楽界の巨匠を音楽監督に迎え、国内外の第一線で活躍する指揮者・ソリストとの共演を重ねてきた。2018年より管楽器奏者が加入したことを機に、「神戸市室内管弦楽団」と改名。2021年には世界的なチェリストであり指揮者の鈴木秀美が音楽監督に就任し、古典派音楽を中心に質の高いアンサンブルの追求を続けている。定期演奏会の他にも、地域へのクラシック音楽普及や、音楽を通して地域の抱える課題に取り組むなど、公共の楽団としての活動も精力的に行っている。神戸文化ホールの専属団体。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

神戸市混声合唱団

Kobe City Philharmonic Chorus

1989年に神戸市が設立した、日本では数少ないプロフェッショナル合唱団。豊富なレパートリーをもち、密度が高く澄みきった美しいハーモニーは高い評価を得ている。2010年にはラトヴィアの室内合唱団「アヴェ・ソル」と姉妹合唱団協定を締結。神戸文化ホールの専属団体であり、年に2回の定期演奏会のほか、姉妹団体である神戸市室内管弦楽団との合同演奏会も開催。神戸市内では小学校を対象にインリーチ・アウトリーチ活動を積極的に行い、各区の文化センターや病院での公演など、地域に根差した活動に力をいれ、「音楽のまち神戸」の推進にも大きな役割を果たしている。2021年4月、佐藤正浩が音楽監督に就任。プロ合唱団としてさらなる飛躍に努めるとともに、合唱を通して音楽文化向上の取り組みを行うなど、文化振興や社会公益活動にも注力している。



【U25チケット】

たいへんお得なU25チケット

25歳以下（小学生以上）のお客は1,000円で鑑賞できます。

※来場時に年齢が確認できる証明書の提示が必要です。

【神戸のびのびシート】

神戸市在住の小中学生をコンサートに無料ご招待!

当団公式サイト「神戸のびのびシート」専用ページから

ご応募ください。



無料託児サービスのご案内

【対象】1歳〜就学前まで 【申込期間】2025年10月31日（金）までに、下記へお申し込みください。

【申込先】（公財）神戸市民文化振興財団 078-361-7241（9:00〜17:30 ※日・月・祝日休業）

神戸文化ホール

〒650-0017 神戸市中央区楠町4丁目2-2

- 神戸市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」
徒歩1分（新神戸駅より3駅7分）
- 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩8分
- JR「神戸駅」徒歩10分（大阪駅より新快速で25分）
- 神戸市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」徒歩12分